

現状(これまでの取組を含む)

1 現状

(1) 保健医療情報へのニーズ等

- 必要だと思う保健や医療に関する情報
 - ・休日・夜間の診療体制や救急医療機関について:49.5%
 - ・病気の症状や予防・治療について:45.4%
 - ・どこにどのような医療機関があるかについて:39.9%
- 医療機関案内サービス「ひまわり」認知度:15.4%
(健康と保健医療に関する世論調査(平成29年3月))

(2) 都内の地域医療連携ネットワーク

- ・電子カルテを導入している病院:210病院 (平成28年度医療機能実態調査)
- ・電子カルテを活用した地域医療連携の実施:36病院
(平成26年11月東京都医師会調べ)
- ・東京都地域医療連携ICTシステム整備支援事業実績:
平成27年度 2病院、平成28年度 9病院 (補助対象病院数)

(3) 地域におけるICTを活用した多職種連携

- ・在宅療養推進基盤整備事業・多職種ネットワーク構築事業実績:
平成28年度 49地区医師会

2 これまでの取組状況

(1) 保健医療情報の提供

- ①保健医療情報センターの運営
- ②医療機関案内サービス「ひまわり」(Webサイト)、薬局機能情報提供システム「t-薬局いんふお」(Webサイト)の運営
- ③都民の医療に対する理解と参画推進事業
 - ア 医療情報ナビ冊子・Webサイトによる普及啓発の実施
 - イ 医療情報理解促進のための人材養成研修の実施
 - ウ 相互理解のための対話促進事業(都医師会に委託)
- ④東京都子ども医療ガイド(Webサイト)の運営

(2) 地域医療連携ネットワーク

- ①東京都地域医療連携ICTシステム整備支援事業
ICTを活用した地域医療連携に取り組む医療機関へ補助
- ②東京都地域医療連携ネットワーク構築支援事業
ICTを活用した都全域を対象とする医療連携ネットワークの構築に向けた都医師会の取組を支援

(3) 地域におけるICTを活用した多職種連携

- 在宅療養推進基盤整備事業・多職種ネットワーク構築事業
医療と介護の関係者がICTを活用し情報を共有しながら、連携して在宅療養患者を支えるネットワーク体制を構築する都医師会・地区医師会の取組を支援

課題

1 都民への適切な医療情報提供

- 「ひまわり」、「t-薬局いんふお」の内容充実
- 「ひまわり」、「t-薬局いんふお」、医療情報ナビ冊子、子ども医療ガイドの認知度向上・利用率向上

2 都民の適切な受療行動の促進

- 住民に身近な区市町村等と連携した医療制度等の普及啓発の充実

3 ICTを活用した効果的な医療連携

- ICTを活用した病病/病診連携の推進
 - ・ICTを活用した地域医療連携に取り組む医療機関の拡大
- 東京都全域を対象とする医療ネットワークの構築
- ICTを活用した地域における情報共有・多職種連携の推進

今後の方向性

1 「ひまわり」、「t-薬局いんふお」による適切な医療機関・薬局の選択

2 「医療情報ナビ」等による医療の仕組みなどに対する理解促進

3 ICTを活用した効果的な医療連携の推進

都民の視点に立った医療情報

(取組1)「ひまわり」や「t-薬局いんふお」による適切な医療機関・薬局の選択

- 「ひまわり」の医療機関情報を都民に分かりやすく提供できるよう、掲載情報の充実、システムの改善や操作性の向上、多言語化等に引き続き取り組む
- 「t-薬局いんふお」により、都民が求める薬局に関する情報を分かりやすく提供
- 都民や医療従事者に対し、「ひまわり」「t-薬局いんふお」の認知度向上、利用率向上に向けた広報を実施

(取組2)「医療情報ナビ」等による医療の仕組みなどに対する理解促進

- 「医療情報ナビ」や「こども医療ガイド」等を活用して、医療の仕組みや医療情報の選択等に関する都民の理解の促進に取り組む
- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、都民に身近な区市町村や医師会等と連携し、医療提供施設相互間の機能の分担や業務の連携の重要性の理解を深め、適切な医療機関の受診や、在宅療養への理解、看取りに関する正しい知識等について、効果的な普及啓発を実施

(取組3)ICTを活用した効果的な医療連携の推進

- ICTを活用した地域医療連携ネットワークを導入する医療機関を支援することにより、急性期から在宅療養への切れ目ない医療連携の推進や、検査結果や服薬情報などの患者情報の共有による二重検査や過剰投薬の防止など、患者の負担軽減を図る
- 都全域を対象とするICTを活用した医療連携ネットワークの構築に向けた取組を支援
- 地域におけるICTを活用した情報共有・多職種連携の強化